

## 実験動物授受のための動物健康及び飼育形態調査レポート -Rodent Transfer Report-

本レポートは、謹受施設における謳渡動物の受け入れの際に参考資料としてのみ利用します。

### 1. 動物の健康に関して

- A. 謳渡動物名： \_\_\_\_\_
- B. 謳渡動物に関するこの健康調査レポートは、貴施設におけるどの動物に対しての情報提供ですか？  
 貴施設の全動物  謳渡動物が飼育されていた部屋の動物のみ
- C. 貴施設では、動物の微生物モニタリングについて、実験動物の授受に関するガイドライン（国動協）または実験動物のモニタリングに関する指針（公私動協）に準拠していますか？  
 はい  いいえ (“はい”的場合、最近1年間程度の微生物モニタリング検査書を提出して下さい。複数の飼育室の成績を併記した検査書の場合、謳渡動物に該当する欄を示して下さい。）
- D. 貴施設では、動物の微生物モニタリングをどのくらいの頻度で行っていますか？  
 1回未満／年、 1回程度／年、 2回程度／年、 3回程度／年、  
 4回程度／年、 6回以上／年、 その他
- 
- E. 微生物モニタリングに提供された動物は次のどちらですか？また、検査動物数をお答え下さい。  
 モニター（センチネル）動物（検査動物数： \_\_\_\_\_ 匹）  
謳渡動物と（ 同じケージ、 同じラック、 同じ飼育室、 同じ飼育区域）内で飼育  
・モニター動物の飼育期間： \_\_\_\_\_ 週間以上  
・モニター動物の飼育方法：（ 使用済み床敷に暴露、 飼育装置の排気に暴露、  
 その他 \_\_\_\_\_ ）  
 無作為抽出動物（検査動物数： \_\_\_\_\_ 匹、生後 \_\_\_\_\_ 週齢以上）  
謳渡動物と（ 同じケージ、 同じラック、 同じ飼育室、 同じ飼育区域）内で飼育
- F. この健康調査レポートを提出する以前に、疾病上の問題が生じたことがありますか？  
(注：少なくとも最近1年以内に起きた問題については必ず記入して下さい。)  
①施設全体上の問題  
 はい  いいえ (“はい”的場合、支障がなければそのレポート等のコピーを提出して下さい。）  
②謳渡動物に関連する問題  
 はい  いいえ (“はい”的場合、支障がなければそのレポート等のコピーを提出して下さい。）
- G. 貴施設では信頼のおける施設以外からの動物を検査せずに導入することがありますか？  
 はい（ 制限なしに導入、 分与施設の微生物モニタリング検査書が基準を満たせば導入）  
 いいえ（検査書の成績によらず隔離検疫またはクリーニング後に動物室に搬入）  
(“はい”的場合は、検査しなかった理由を以下に説明して下さい。また隔離ないしは後日検査

をしましたか?)

---

---

- H. 今回の譲渡動物は上記の信頼おける施設以外から導入された動物と同室で飼育していますか?  
 はい  いいえ (“はい”の場合、支障がなければ上記の動物についての健康状態に関する資料のコピーも提出して下さい。)

## 2. 譲渡動物の飼育形態について

- A. 貴施設における譲渡動物の飼育形態はいずれと考えますか?  
 バリア・SPF (完全滅菌のブーツ、マスク、ガウン使用や入域制限区域など)  
 準 SPF 扱い (高性能フィルターによる空調、滅菌済み飼育器材類使用、しかし一般的実験衣服、入域制限なしなど)  
 コンベンショナル (未滅菌飼育器材類の使用、オープンケージなど)  
 その他 (以下に具体的に記入して下さい。)
- 
- 

- B. 譲渡動物に対して最近よく使用されているマイクロアイソレーター・ケージや一方向性気流方式飼育装置などを使用していますか?  
 はい  いいえ (“はい”的場合、次のどの装置ですか?)  
 マイクロアイソレーター・ケージ、 フィルタートップ・ケージ、 クリーン・ラック類、 一方向性気流方式飼育装置、 その他 ( )
- C. 同一飼育室で複数の動物種を飼育していますか?  
 はい  いいえ
- D. 譲渡動物が飼育されている部屋で、繁殖は行われていますか?  
 はい  いいえ

## 3. 譲渡動物についてコメントがあれば以下に記入して下さい。

---

---

---

---

---

---

---

回答者 (譲渡者及び譲渡施設管理者)

譲渡施設名

譲渡者氏名:

譲渡施設管理者氏名:

TEL

TEL

FAX

FAX

E-mail

E-mail

レポート作成日 : 平成 年 月 日